

昭和二十六年一月三日

官吏仕用級級令施行ニ伴フ大正十一年勅令第四百三十一號廢止等ニ關スル件(樞密院關  
係以外)

第一條 左ニ掲タル件ハ之ヲ廢止ス

大正十一年勅令第四百三十一號(陸軍准士官下士官ヲ判仕文官ニ任用ノ件)

大正十一年勅令第四百三十二號(海軍准士官及下士官ヲ判仕文官ニ任用ノ件)

明治四十三年勅令第二百十七號(東京都等判仕官中月俸四十圓未滿ノ者ノ特別任用ニ關スル  
件)

第二條 外交官領事官及書記生仕用令中左ノ通改正ス

第二條中「高等官」ヲ「二級以上ノ官吏レニ改ム

第六條中「判仕官」ヲ「三級官吏」ニ改ム(大東亞省ノ字句ハ整理済ナリヤ)

第三條 地方待遇職員令中左ノ通改正ス

第四條 第一復員及第二復員部内職員令中左ノ通改正ス

第五條 大正十年勅令第二百二十三號(參仕文官及判仕文官ノ優遇ニ關スル件)中左ノ通改正ス

第一條中「高等官官守俸給令別表第二表第一號、第三表及第五表ニ依ル參仕文官ニシテ引續  
キ五年以上高等官三等」ヲ「十年以上引續キ二級官」ニ改メ但書ヲ削ル

第二條中「判仕文官ニシテ引續キ五年以上一級俸ヲ受ケテ」ヲ「十年三級官ニ」ニ、「參仕官  
ヲ「二級官吏」ニ改メ第二項ヲ削ル

第六條 明治四十三年勅令第二百七十五號(文官試補及見習ニ關スル件)中左ノ通改正ス

第一條中「文官仕用令第五條ノ規定ニ依リ參仕文官」ヲ「官吏仕用級級令第五條第一項第  
一號及第二號ノ規定ニ依リ二級官」ニ、「同令第六條ノ規定ニ依リ判仕文官」ヲ「同令第  
四條ノ規定ニ依リ三級官」ニ改ム

第二條及第三條中「參仕官」ヲ「二級官」ニ、「判仕官」ヲ「三級官」ニ改ム

第七條 昭和十六年勅令第二百二十八號(文官仕用令ノ判仕文官ノ任用資格等ノ特例ニ關ス  
ル件)中左ノ通改正ス

第一條 刪除

第八條 昭和十七年勅令第五百四十五號（各廳職員死セタル場合ニ於ケル任用等、手續ノ開スル件）中左、通改正ス

「官等レラ「等級」ニ、「勅仕官」ヲ「一級官」、「奏任官」ヲ「二級官」ニ、「判任官」ヲ「三級官」ニ改ム

第九條 昭和十八年勅令第百三十八號（各廳職員優遇令施行ニ關スル件）中左、通改正ス

第十條 官吏任用級級令施行ノ際現ニ存スル勅令中勅任、奏任、判任、勅仕官、奏任官、判任官、高等官、初任官、待遇、奏任官ノ待遇及判任官ノ待遇ニ關スル規定ハ別段、規定アル場合ヲ除クノ外一級、二級、三級、一級官、二級官、三級官、二級以上ノ官、一級官吏ノ待遇、二級官吏ノ待遇及三級官吏ノ待遇ニ關スル規定トス（本條ハ枢密院關係ノ方ニ押入スルヲ可トスルヤ）

#### 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

#### 理 由

官吏任用級級令施行ニ伴ヒ大正十一年勅令第四百三十一號ノ廢止其、他關係諸勅令ノ整理ヲ爲スノ要マルニ依ル

#### 備 考

判任文官特別任用令（第三條）、公立圖書館職員令（第五條及第六條）、公立學校職員制、昭和十七年勅令第五百四十五號（各廳職員死セタル場合ニ於ケル任用等、手續ニ關スル件第二項）等ハ待遇關係ノ規定ナリ

外地外國等ニ勅任、奏任、判任等ノ制度ヲ存シ且官吏任用級級令附則第二條ヲ設ケタル以上ハ専分ソノマ、トスルヲ可トス